

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 3 月 18 日 (2021.3.18)

【公開番号】特開 2018-175684 (P2018-175684A)

【公開日】平成 30 年 11 月 15 日 (2018.11.15)

【年通号数】公開・登録公報 2018-044

【出願番号】特願 2017-83379 (P2017-83379)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【FI】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 5 日 (2021.2.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技に関する主な制御を実行する主制御手段と、
その主制御手段から出力される制御信号に基づいて制御を行う従制御手段と、を備えた遊技機において、
前記主制御手段は、
判別条件の成立に基づいて判別を実行する判別手段と、
その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて、遊技者に有利な特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、
前記判別手段の判別結果を示す判別結果信号を前記従制御手段に出力する第 1 出力手段と、
所定の取得条件の成立に基づいて、前記判別手段の判別に用いる判別情報を取得する判別情報取得手段と、
その判別情報取得手段により取得された前記判別情報を、予め定められた特定の情報数を上限として、当該取得された判別情報が前記判別手段の判別に用いられるまで記憶可能に構成された判別情報記憶手段と、
前記判別情報取得手段によって取得された前記判別情報に基づく判別情報信号を、前記判別条件が成立するよりも前に前記従制御手段に出力可能な第 2 出力手段と、を備え、
前記従制御手段は、
前記第 1 出力手段により出力された前記判別結果信号と、前記第 2 出力手段により出力された前記判別情報信号と、を少なくとも受信可能に構成された信号受信手段と、
その信号受信手段により前記判別結果信号が受信されたことに基づいて、その受信された判別結果信号が示す判別結果に応じた第 1 演出を実行する第 1 演出実行手段と、
前記信号受信手段により前記判別情報信号が受信されたことに基づいて、その受信された判別情報信号に応じて第 2 演出を実行するか判別する第 1 実行判別手段と、
その第 1 実行判別手段による判別で前記第 2 演出を実行すると判別されたことに基づいて、当該判別よりも後に実行される 1 又は複数の前記第 1 演出の実行期間に渡る前記第 2 演出の実行を設定する第 1 設定手段と、
前記信号受信手段により前記判別情報信号が受信されたことに基づいて、その受信された前記判別情報信号に応じた特定情報を、所定の情報数を上限として、対応する前記判別

結果信号が前記信号受信手段により受信されるまで記憶可能に構成された情報記憶手段と、

所定の設定条件の成立に基づいて、前記第2演出の実行の設定が抑制される抑制状態を設定する状態設定手段と、

予め定められた所定条件が成立したことに基づいて、前記情報記憶手段に記憶された全ての前記特定情報に対して、一度に予め定められた法則に従った所定の処理を行うための所定処理手段と、

一群のデータで構成されたデータであって、前記所定の処理の結果である所定のデータを所定の記憶領域に記憶する手段と、

前記抑制状態が設定された後で予め定められた特定条件が成立したことを契機として、前記抑制状態を終了させる終了手段と、

前記特定条件が成立したことを契機として、前記所定の記憶領域に記憶された前記所定のデータを用いて、前記第2演出を実行するか判別する第2実行判別手段と、

その第2実行判別手段による判別で前記第2演出を実行すると判別されたことに基づいて、当該判別よりも後に実行される1又は複数の前記第1演出の実行期間に渡る前記第2演出の実行を設定する第2設定手段と、を備え、

前記所定条件は、少なくとも前記抑制状態が設定されてから前記第2実行判別手段による判別が実行されるまでの間に成立し得る条件で構成されており、

前記所定の処理は、当該所定の処理の対象となった前記特定情報の最上位ビットのデータを少なくとも前記所定のデータに反映可能な処理であり、

前記特定条件は、前記判別手段による新たな判別が実行可能となる場合に成立し得る条件であることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記主制御手段を収納可能な収納手段を備えることを特徴とする請求項1記載の遊技機

。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、遊技に関する主な制御を実行する主制御手段と、その主制御手段から出力される制御信号に基づいて制御を行う従制御手段と、を備えたものであって、前記主制御手段は、判別条件の成立に基づいて判別を実行する判別手段と、その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて、遊技者に有利な特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、前記判別手段の判別結果を示す判別結果信号を前記従制御手段に出力する第1出力手段と、所定の取得条件の成立に基づいて、前記判別手段の判別に用いる判別情報を取得する判別情報取得手段と、その判別情報取得手段により取得された前記判別情報を、予め定められた特定の情報数を上限として、当該取得された判別情報が前記判別手段の判別に用いられるまで記憶可能に構成された判別情報記憶手段と、前記判別情報取得手段によって取得された前記判別情報に基づく判別情報信号を、前記判別条件が成立するよりも前に前記従制御手段に出力可能な第2出力手段と、を備え、前記従制御手段は、前記第1出力手段により出力された前記判別結果信号と、前記第2出力手段により出力された前記判別情報信号と、を少なくとも受信可能に構成された信号受信手段と、その信号受信手段により前記判別結果信号が受信されたことに基づいて、その受信された判別結果信号が示す判別結果に応じた第1演出を実行する第1演出実行手段と、前記信号受信手段により前記判別情報信号が受信されたことに基づいて、その受信された判別情報信号に応じて第2演出を実行するか判別する第1実行判別手段と、その第1実行判別手段による判別で前記第2演出を実行すると判別されたことに基づいて、当該判別よりも後に実行される1又は複数の前記第1演出の実行期間

に渡る前記第2演出の実行を設定する第1設定手段と、前記信号受信手段により前記判別情報信号が受信されたことに基づいて、その受信された前記判別情報信号に応じた特定情報を、所定の情報数を上限として、対応する前記判別結果信号が前記信号受信手段により受信されるまで記憶可能に構成された情報記憶手段と、所定の設定条件の成立に基づいて、前記第2演出の実行の設定が抑制される抑制状態を設定する状態設定手段と、予め定められた所定条件が成立したことに基づいて、前記情報記憶手段に記憶された全ての前記特定情報に対して、一度に予め定められた法則に従った所定の処理を行うための所定処理手段と、一群のデータで構成されたデータであって、前記所定の処理の結果である所定のデータを所定の記憶領域に記憶する手段と、前記抑制状態が設定された後で予め定められた特定条件が成立したことを契機として、前記抑制状態を終了させる終了手段と、前記特定条件が成立したことを契機として、前記所定の記憶領域に記憶された前記所定のデータを用いて、前記第2演出を実行するか判別する第2実行判別手段と、その第2実行判別手段による判別で前記第2演出を実行すると判別されたことに基づいて、当該判別よりも後に実行される1又は複数の前記第1演出の実行期間に渡る前記第2演出の実行を設定する第2設定手段と、を備え、前記所定条件は、少なくとも前記抑制状態が設定されてから前記第2実行判別手段による判別が実行されるまでの間に成立し得る条件で構成されており、前記所定の処理は、当該所定の処理の対象となった前記特定情報の最上位ビットのデータを少なくとも前記所定のデータに反映可能な処理であり、前記特定条件は、前記判別手段による新たな判別が実行可能となる場合に成立し得る条件である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項2記載の遊技機は、請求項1記載の遊技機において、前記主制御手段を収納可能な収納手段を備える。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の遊技機によれば、遊技に関する主な制御を実行する主制御手段と、その主制御手段から出力される制御信号に基づいて制御を行う従制御手段と、を備えたものであって、前記主制御手段は、判別条件の成立に基づいて判別を実行する判別手段と、その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて、遊技者に有利な特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、前記判別手段の判別結果を示す判別結果信号を前記従制御手段に出力する第1出力手段と、所定の取得条件の成立に基づいて、前記判別手段の判別に用いる判別情報を取得する判別情報取得手段と、その判別情報取得手段により取得された前記判別情報を、予め定められた特定の情報数を上限として、当該取得された判別情報が前記判別手段の判別に用いられるまで記憶可能に構成された判別情報記憶手段と、前記判別情報取得手段によって取得された前記判別情報に基づく判別情報信号を、前記判別条件が成立するよりも前に前記従制御手段に出力可能な第2出力手段と、を備え、前記従制御手段は、前記第1出力手段により出力された前記判別結果信号と、前記第2出力手段により出力された前記判別情報信号と、を少なくとも受信可能に構成された信号受信手段と、その信号受信手段により前記判別結果信号が受信されたことに基づいて、その受信された判別結果信号が示す判別結果に応じた第1演出を実行する第1演出実行手段と、前記信号受信手段により前記判別情報信号が受信されたことに基づいて、その受信された判別情報信号に応じて第2演出を実行するか判別する第1実行判別手段と、その第1

実行判別手段による判別で前記第 2 演出を実行すると判別されたことに基づいて、当該判別よりも後に実行される 1 又は複数の前記第 1 演出の実行期間に渡る前記第 2 演出の実行を設定する第 1 設定手段と、前記信号受信手段により前記判別情報信号が受信されたことに基づいて、その受信された前記判別情報信号に応じた特定情報を、所定の情報数を上限として、対応する前記判別結果信号が前記信号受信手段により受信されるまで記憶可能に構成された情報記憶手段と、所定の設定条件の成立に基づいて、前記第 2 演出の実行の設定が抑制される抑制状態を設定する状態設定手段と、予め定められた所定条件が成立したことに基づいて、前記情報記憶手段に記憶された全ての前記特定情報に対して、一度に予め定められた法則に従った所定の処理を行うための所定処理手段と、一群のデータで構成されたデータであって、前記所定の処理の結果である所定のデータを所定の記憶領域に記憶する手段と、前記抑制状態が設定された後で予め定められた特定条件が成立したことを契機として、前記抑制状態を終了させる終了手段と、前記特定条件が成立したことを契機として、前記所定の記憶領域に記憶された前記所定のデータを用いて、前記第 2 演出を実行するか判別する第 2 実行判別手段と、その第 2 実行判別手段による判別で前記第 2 演出を実行すると判別されたことに基づいて、当該判別よりも後に実行される 1 又は複数の前記第 1 演出の実行期間に渡る前記第 2 演出の実行を設定する第 2 設定手段と、を備え、前記所定条件は、少なくとも前記抑制状態が設定されてから前記第 2 実行判別手段による判別が実行されるまでの間に成立し得る条件で構成されており、前記所定の処理は、当該所定の処理の対象となった前記特定情報の最上位ビットのデータを少なくとも前記所定のデータに反映可能な処理であり、前記特定条件は、前記判別手段による新たな判別が実行可能となる場合に成立し得る条件である。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1 2 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1 2 2 4】

1 0	パチンコ機（遊技機）
1 0 0	基板ボックス（収納手段）
1 1 0	主制御装置（主制御手段）
1 1 3	音声ランプ制御装置（従制御手段）
2 2 3 a	入賞情報格納エリア（情報記憶手段）
S 2 1 4	特典遊技実行手段
S 3 0 5	判別手段
S 3 1 0	第 1 出力手段の一部
S 4 0 6	判別情報取得手段
S 4 0 7	事前特定手段
S 4 0 8	第 2 出力手段の一部、判別情報信号生成手段
S 9 0 1	第 1 出力手段の一部、第 2 出力手段の一部
S 4 1 1 1	信号受信手段
S 4 3 0 1	ビット設定手段
S 4 3 1 1	状態設定手段
S 4 4 0 5	所定処理手段
S 4 4 0 6 ~ S 4 4 0 8	情報判別手段、第 1 実行判別手段、第 1 設定手段
S 4 4 1 1	第 2 実行判別手段
S 4 4 1 2 , S 4 4 1 4	第 2 演出実行手段、第 2 設定手段
S 4 5 0 5	第 1 演出実行手段